

戸田康之さん『教え子』（5月2日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。  
今日は、教え子というテーマでお話します。

みなさんご存じかと思いますが、昨年夏に開催されたオリンピック・パラリンピックの開会式、閉会式にろう通訳が付きましてよ。みなさんからよくわかるなどの声があり、私も、ろう通訳として出演しました。少し前に終わった北京での冬季オリンピック・パラリンピックの開会式、閉会式にもろう通訳がしっかりとあり良かったです。そこでも、同じろう者として手話がわかりやすいなど様々な声をいただきました。そこでも、私はろう通訳を担いました。ろう通訳を担ったのは私だけではなく、ほかにも男女が数名いました。その中に若い女性で鈴木さんがいます。手話も非常にわかりやすかったです。

実は彼女のことは以前から知っていました。私は現在ろう学校で働いています。20年前の仕事を始めただけの若いころ幼稚部を担当しました。3歳の子どもたちを相手に一緒に遊んだり生活の世話をしたりしていたその中に鈴木さんがいたんです。本当に小さいときに出会ったんです。その後時を経て、今は23歳だと思います。ろう通訳の仕事に彼女と並んで出来ていることが非常に幸せです。

話は変わりますが、私は、手話ニュースにも出演しています。ろう学校の子どもたちは、手話ニュースを見ているようで、校内で昨日の放送見たよなど声をかけてくれます。そんな中1人の生徒が、将来手話ニュースに出たいと言います。そのためにはどうしたらいいのかと質問してきました。出るには試験があるから勉強を頑張らないといけない、日本語から手話への翻訳の勉強も必要だし、毎日新聞を読むことも大切で私も毎日読んでいるし、手話を磨かなければいけない。適当な手話では見ている人に伝わらないので、わかりやすい手話表現を身に着けることが必要だと話しました。すると、がんばると言ってくれました。手話ニュースに出たいなんて言われると嬉しいですよ。私が小さかったころには、手話ニュースに出たいなんて夢は持てませんでした。今はテレビのドラマやニュースなどにろう者が出ていて、それを見る機会があり夢が広がるのです。今の子どもたちは良いですね。彼が将来手話ニュースの試験に受かり、一緒に手話ニュースに出演できるなんてことがあったらと思うと、私の夢も広がりますね。